

事業所名 デイサービス クローバー

運営推進会議開催報告書

開催日時 平成 30年 11月 7日(水) 15時00分~15時30分		
参加者		議題
利用者	0名	デイサービス クローバーの運営状況の説明
利用者家族	0名	・会社概要について
地域住民の代表者	1名	・利用者状況について
市職員	1名	・年間行事、取り組みについて
地域包括支援センター職員	1名	・事故、ヒヤリハットについて
事業所	2名	・地域への取り組みについて
会議録		
<p>資料に基づいて、ご説明をさせていただきました。</p> <p><input type="checkbox"/>補足説明として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット交通事故について 送迎中交差点進入時、安全確認したもののスピードをあげて侵入してきた車があり、衝突しそうになった。 <p><input type="checkbox"/>ご質問があった内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別レクは行っているか？ →新人スタッフの割合が多く、とっさの判断などに不安があるため、安全を優先して今は行っていません。 ・介護スタッフの勤続年数は？ →一年未満のスタッフが3名、三年未満が3名、三年以上が2名です。 <p><input type="checkbox"/>ご意見として</p> <p>地域への取り組みでカフェがあるのは良い。自力で来れないひとへのアプローチをどうしていくかは、皆で考えていかなければならない課題だと思う。コミュニティーバスの運行増やルートに関してもお話ができました。住みよい地域のために、地域の人的資源も活用できる仕組みができるとよいですね。</p> <p><input type="checkbox"/>次回開催日程について</p> <p>平成31年2月上旬を予定します。</p>		

デイサービス クローバー 運営推進会議資料

平成30年11月7日

<企業理念>

幸せをひとつに

- ・私たちは、福祉サービスを通じて、人の心を豊かにします。
- ・私たちは、地域の困りごとを解決し、住み良い社会づくりに貢献します。
- ・私たちは、変化に対応しつつ支え合い、学びながら成長し続けます。

<デイサービス クローバー 方針>

笑顔で気持ち良く利用者の横に座って傾聴し、利用者のニーズを把握し、必要なサービスを起こす。介護者やケアマネと寄り添いながら客観的にサービスを見直す。社外から見ても明るい雰囲気が伝わるような企画をし、利用者にサービスを提供する。スタッフは学びながら成長していく。

<施設案内>

開設年月日 平成22年4月1日 (同日指定日)
サービス内容 地域密着型通所介護サービス・介護予防通所介護サービス
利用定員 13名
営業日 月曜日～土曜日 (木曜・日曜日は休業) 祝日は営業
12月29日～1月3日までを除く

<利用状況について>

登録人数：29名 (男性：10名、女性：19名)
要介護認定：25名
要支援認定：3名
事業対象者：1名
平均介護度：1.72

<毎日の取り組み>

介護職員がお迎え→お茶タイム（ゆっくりお話をしながら）→あいさつ→
午前レク（手先を動かして認知症予防）入浴の方は順番にお誘い→昼食前の口腔体操→
昼食（厨房で手作りのお食事をみんなで一緒にいただきます）→休憩→体操・ゲーム→
おやつ（学童のこどもたちと一緒に）→おしゃべりしながら帰宅準備→介護職員が送り

<毎月の取り組み>

利用日がわかるように次月のカレンダーを作成
認知症予防のための手先を使ったレクリエーション（作品作り、おやつ作り）
脳トレーニングの実施
体操・体力測定の実施
きつずクローバーとの合同行事（おやつづくり・駄菓子やさん）

<年間行事>（平成30年3月より平成31年10月まで）

4月	お花見
夏休み	体操の時間にきつずの子どもと一緒に
10月	運動会

<ヒヤリ、事故件数>（平成30年3月より平成31年10月末まで）

ヒヤリ：15件

□内訳□

転倒、転落、つまずき：8件、誤嚥・誤食：1件、投薬関係：2件、交通事故：1件
けがをしそうになる：3件（えんぴつで耳かき、はさみで爪切り）

事故：5件

転倒：1件、爪切り処置時切創：2件、打撲：1件、はさみ使用時に切創：1件
（ナースが様子観察、処置をしたもの）

<介護予防の取り組みについて>

- ・毎月1回の体力測定の数値をご本人にも見える形で前月よりも向上する気持ちを持って取り組んでいただく。
- ・午前中は作品づくり等でおしゃべりをしながら手先を使うレクリエーションの提案。
- ・午後は足（ひざ）を動かすことに特化した体操や、歌をうたう等ADL低下を防ぐ目的で行う。
- ・きつず（弊社学童保育）の子供たちとの交流で刺激を与える

<大切にしていること>

企業理念と方針に基づき、利用者様の隣に笑顔で座り、ゆっくりお話を聞き、ニーズを見つけて応えていくこと。

家族のようなゆっくりとした時間を一緒に過ごし、一緒に楽しむこと。

厨房での手作りの食事の提供。

ご家族様との連絡、関係作り（送迎を介護スタッフが行う）

カンファレンス、研修、避難訓練を毎月一度必ず行う。（必要に応じて適宜）

<地域に向けての取り組み>

●コミュニティサロン“みずのカフェ”（原則毎月第四木曜日 10：00～12：00）

みずのカフェには毎月10名ほどの地域の方が来会されています。

ボランティアの考案した牛乳パック工作や、ことば遊びなどに取り組んでいます。

固定メンバーがお友達を紹介してくださって新規来会者も少し増えましたが、けがをされて以降、来会が無くなった方や亡くなられた方もあり、新規来会者をどう増やしていくかが懸案事項です。

今後も地域の皆様の集う場所として活用いただきたく取り組んでまいります。

●瀬戸市認定認知症カフェ“せとらカフェ みずの”（ 〃 13：00～15：00）

瀬戸市よりご後援いただき、認知症の方の介護をしておられる方のレスパイトケアを主として活動しています。“来会された方がゆっくりとお話しができるように”を中心に考え、必要であれば専門職への相談も受け付けています。

リピーターもでき、いっぱいいっぱい心が軽くなったと笑顔で帰宅される様子もみられました。

今後は認知症サポーター講座を受けられた方の継続的活動の場所として認知症を理解し住み良い地域となるような取り組みにも力を入れたいと考えています。